



No.3449

第3767回例会
令和5年1月25日OBIHIRO ROTARY CLUB
DISTRICT 2500

方針「グレート・リセット 未来へ！」 会長 竹川博之

2022-23年度国際ロータリーのテーマ イマジン ロータリー

■会長報告



竹川 博之 会長

今年は、帯広に於いては雪が多く、滑りやすい状態になっています。そろんで怪我しない様に又、体調管理に十分注意して下さい。ところで、明後日1月27日はポールハリスの命日です。第二次世界大戦後間もない1947年に長い闘病生活の末、シカゴにて78歳で永眠されています。葬儀に花を贈る代わりに、ロータリー財団に寄付して欲しいと言った話はとても有名な逸話です。

又、今月末に地元で永い歴史を重ねてきた老舗百貨店の藤丸が122年の幕を閉じます。明治、大正、昭和、平成、5つの元号を生きて来た老舗が完全閉店してしまうのです。何とも、悲しくさびしい限りです。地域のランドマークが1つなくなり、街中の空洞化がすすむ事が懸念されています。何とか早く再生して頂きたいと考えます。帯広クラブも金融機関、マスコミ、その他取引関係、そして何よりも再生に係わる会社の役員の方がメンバーとしていらしています。何らかの形で当クラブが支援できれば強く思っています。事業再生には資金、情報、アイデア更に人的ネットワークが必要です。皆で協力したいものです。昨年、今年は多くの方が会員増強に動いて頂いて大変感謝しております。昨年の7月スタートより15名の新入会員が加入されております。今あるメンバーの入会について、異議申し立てが出されております。クラブ定款、細則に従って手続き上の瑕疵がない様に進めています。又、最終的には理事会にて決定する事になりますが先日のクラブ協議会では1時間に亘り、熱の入った意見を頂きました。推せん人の役割、新入会員の選考の仕方等、出席者の帯広クラブを大事にしたいという真剣な思いが伝わる有意義な時間でありました。会長としては帯広クラブとしてどうあるべきかロータリーの根本的な考え方4つのテストを重要な判断基準として理事会にて決定して参りたいと考えております。後日、ご報告させて頂きます。

以上、会長報告とさせて頂きます。

■プログラム 「出前講座実施報告」

(職業奉仕委員会)



竹川 博之 会長

初めまして、地区米山記念奨学会運営委員会 旭川クラブの小滝です。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

日頃は米山記念奨学事業に對しまして、大変温かいご理解とご支援ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。そして、一昨年度からお世話になり、昨年の9月に卒業されたタイのナダさんにおかれましては、大変お世話になりました。また、新たに「海外応募」の同じくタイから来られる、クンロン・シーリンさんがお世話になります。改めまして、よろしくお願い致します。

米山記念奨学事業は、皆さま方の寄付で運営されていますが、それよりもお世話になるクラブ、そして直接奨学生のお世話をしていただけるカウンセラーの存在が事業の成否を分けると言っても過言ではないと思っています。そういう意味においても、帯広クラブの皆さまには大変お世話になり、感謝申し上げます。とは言いましても、地区 米山委員会の先輩である渡辺さん、そして讃岐さんの前でお話は大変緊張し、何からお話をさせていただくか大変迷いました。そこで、昨年の9月に発行された2022-23年度版の「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」をもとに説明をさせていただきます。



米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー独自の事業 (日本全国34地区の合同活動)
- 日本で学ぶ外国人留学生の支援 (公益財団法人を設立し運営)
- 奨学クラブ・カウンセラー制度で交流を重視「人を育てる事業」

で、34地区全地区が参加する多地区合同プロジェクトです。1952年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。改めて「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」は、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源は全て皆さまからの寄付で成り立っています。冒頭お伝えしたように、この奨学金の最大の特長は、「世話クラブ・カウンセラー制度」です。今はコロナ禍で、難しい部分もありますが、米山奨学生にはロータリー活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。

「米山基金」から70年



•さて、事業の歴史を振り返ってみます。豆辞典では、1~2ページになります。終戦 翌年の1946年、「日本のロータリーの父」と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなりました。その3年後の1949年、戦争のため、解散を余儀なくされていた日本のロータリーが、国際ロータリーへ復帰しました。戦後の落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやるのではないかと、という声が大

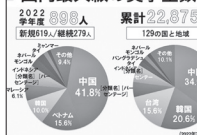
きになってきました。当時の日本は、まだ食糧事情も良くなく、会員たちは「クラブへ行けばお茶を入れてもらえる」と、弁当を持参し、ストローを囲みながら熱心に議論をしていたそうです。そして1952年12月に日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立し、翌年、米山基金として募集を開始しました。さらにその翌年の1954年9月初めてタイの留学生ソムチャード君を奨学生として受け入れ、1957年9月に日本国内全クラブの合同事業として、ロータリー米山記念奨学委員会が結成され全国組織となりました。その後「月にタバコ一箱を節約して」を合言葉に寄付金を募る運動がスタートしたという事です。1959年に世話クラブ制度を設置、1971年からカウンセラー制度も導入し奨学生の個人的ケアにあたっています。1967年7月には、文部省からの許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立され現在にいたり皆さまのご協力で民間最大の奨学財団にまで、なっています。

国際ロータリーと米山

2002	ロータリー研究会のプログラムに「奨学基金」を米山記念奨学事業が採用される
2004	ロータリーの多地区合同活動としての手続きを完了
2014	国際ロータリーが学友の定義を拡大、米山学友(「ミツ」)として登録開始
2016	ソウル国際大会で初の分科会開催

•ただ米山奨学事業は、日本のロータリーが独自の活動として発案し、発展してきました当然、国際ロータリーのプログラムではないので、RIで取り上げられることもありませんでした。そうした関係が、次第に変化してきたのは2000年代に入ってからです。2004年11月のRI理事会では、「奨学金の授与を通じ、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を称賛する」とされ、ロータリー米山記念奨学会が「多地区 合同奉仕活動」(現在は多地区合同活動)の手続きを取ることに、ロータリーの名称やロータリーマークを今後も引き続き使用することを認める、ということが決議されました。そして、2007年には、全34地区からの同意を得て、RIの定める多地区合同 活動として、すべての手続きを完了しました。さらに、2014年1月のRI理事会では学友の定義が拡大され、米山学友も「ロータリーの学友」となりました。これを受けて、2016年のソウル国際大会には世界中から多くの米山学友が集まり、ロータリーファミリーの一員として参加しました。

国内最大級の奨学生数



ます。奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。累計では中国、韓国、台湾が多いですが、ここ数年でベトナムからの留学生が急増しており、現役奨学生の中では中国に次いで多くを占めています。

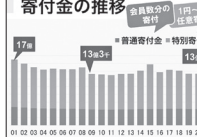
奨学生数の決定と選考

採用基準 (全国統一)
・学友への推薦、人物面・学業面が優秀、 ・将来日本での生活に役立つ人材 ・家庭状況、経済状況は評価対象外
奨学生の目標
・学業の向上 ・人間的成長 ・社会貢献 ・コミュニケーション能力 ・リーダーシップ



•豆辞典10ページでは、米山奨学生が決まるまでの年間スケジュールが書かれています。地区の米山委員会は、一年中休むことなく活動させていただいていますが、その中でも奨学生を選考する「書類選考・面接試験」について説明させていただきます。当地区では例年12月に行い、今年度は昨年の12月北見の地で面接試験を開催させていただきました。そして、採用は全国統一の基準がありますので、「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」「交流への熱意があるかどうか」「人柄の良さ」「コミュニケーション能力の高さ」詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をしています。もちろん、応募書類の審査もしています。ロータリー米山記念奨学会は2012年に公益財団法人となり、より一層の公平性・透明性を確保するため、このように、全地区共通の選考基準で選考をしています。ただ、国籍や学区・学校 等々が偏らないように、地区の裁量を加えて良いものになっています。米山奨学会の奨学金は、お金に困っている留学生の経済支援ではありません。珍しい国だからとか、生活に困っているからとか、学校の成績が優秀だからとかで、単純に決めているわけではありませんのでご理解の程、よろしくお願い致します。

寄付金の推移



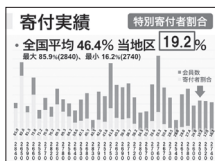
ご寄付は奨学事業に

ご寄付は奨学事業に			
・寄付はその前年とほぼ同額			
収入	寄付金総額: 13億4,579万円	奨学金 124,830	34
	普通寄付金 414,615	特別寄付金 931,176	
支出	事業費計: 14億4,510万円	当議正味増減	
	奨学金 1,242,958	補助費 202,141	

•次に、寄付金についてお話しさせていただきます。豆辞典6ページになります。米山奨学会への過去20年間の寄付金ですが、2001年には約17億円あった寄付金は、近年ではだいたい13~14億円となっています。米山には、クラブから会員数分を納める形の「普通寄付金」と、それ以外に、個人・法人・クラブから、任意で支援していただく「特別寄付金」の2種類があります。いずれも奨学事業に使用されるものですが、特別寄付の方は、寄付をした個人や法人の実績となり、表彰の対象となります。昨年度、2021-22年度の寄付金収入は13億4,579万円(前年度13億3,684万円)と、その前の年度とほぼ同額でした。上段グリーン色の有価証券の配当金(※1)は、事前の取り決めにより、奨学金にのみ

寄付実績		
	個人平均	2500地区
個人平均寄付額	7,249円	15,971円
一般通寄付金	2,877円	4,920円
特別寄付金	4,372円	11,051円

使用しています。(※1)2016年9月に坂本ドネーション・ファウンデーション株式会社(SDF社)から当財団に寄贈された株式の配当金となります。ご覧のように、皆さまのご寄付はそのほとんどが奨学金に使われていますが、奨学金以外、例えば地区や世話クラブへの補助費、事業部門の職員人件費などにも一部使われています。ただ米山奨学事業は、規模が非常に大きい事業であるにもかかわらず、管理費は支出のわずか3%です。超低金利時代ということもあり、昨年度のように管理費が利子収入を超えてしまうこともあり、基本的には、利子収入で賄っていくよう努めています。地区別の個人平均寄付額です。昨年度の全国平均は15,971円で、その前の年度より全体で400円ほどアップしました。



・豆辞典では、17～19ページになります。巣立った奨学生のOB組織、米山校友会は日本に33、海外に9つあります。日本は34地区なので足りないよう見えますが、これは、2500地区と2510地区合わせて「北海道米山校友会」として1つになっている為です。それぞれ、親睦を深めたり、自主的に社会奉仕活動したり、ロータリーの活動に協力したりしています。なお、ミャンマー校友会は、国情が不安定であるため、2021年度は活動を停止していましたが、再開に向けて準備をしています。

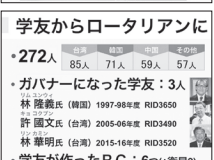


・国内の校友会の活動状況です
・海外の校友会の活動です

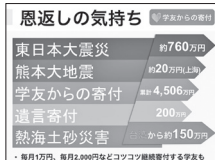
・台湾校友会は日本で大きな災害などが起こるたびに、お見舞いメッセージや義援金を送ってくださっています。東日本大震災、2018年に関西を直撃した台風21号と北海道胆振東部地震。また、熱海土砂災害に対しては約150万円を皆で出し合い、送金してくれました。7月に安倍元首相が急逝された際も、多くの学友が弔問記帳をいただいた、との事です。



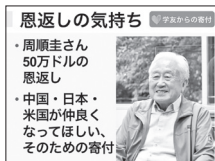
・マレーシア・スリランカ・タイの校友会の活動です。
・そして巣立った奨学生たちは、個人としてもさまざまな形で活躍しています。教育や研究、NPOやNGO、起業する者などあらゆる分野にわたっています。これらの活動は「豆辞典」や「米山学友の群像」、「ロータリーの友」「よねやまだより」などで



多くの学友を紹介しています。ぜひご覧ください。ロータリーに親しんだ学友たちは、卒業後も、ロータリーとのつながりを持ち続けたいと願っています。その1つとして、ロータリーアクトに入会する学友。また、ロータリアンとしてクラブに入会する学友がいます。現在、ロータリアンになった学友は272人おり、その中には、ガバナーになった学友も3人います。また、米山学友が中心となって設立したロータリークラブは国外に2つあり国内に4つありその中には、Eクラブが2つあります。さらに、衛星クラブも2つ設立されています。



・これは、学友からの寄付という形としての恩返しとして毎月1万円、毎月2,000円など、こつこつ継続して送金してくれている学友も居るとの事です。
・最近の例として昨年4月、アメリカ在住の米山学友から突然「米山奨学会に寄付したい」というメールが奨学会に送られてきました。メールの主は、今から60年前の奨学生、中国出身の周順圭(しゅうじゅんけい)さんです。周さんは5月に事務局を訪問し、50万ドルの寄付を表明しました。「僕は中国と日本、アメリカの教育機関に寄付をしています。人生でお世話になったこの三つの国に仲良くしてもらいたいし、そのためには若者にもっと交流してほしいという気持ちがあるからです」このように語ってくださったとの事です。

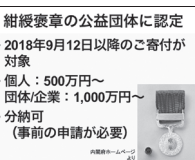
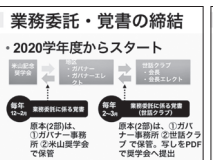
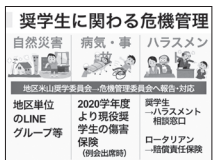


「再会 in 関東」
・2年に1度開催される米山学友の世界大会
・今回は2023年 8月5～6日
「再会in関東」会場:茨城県つくば市



・続きまして米山奨学会が財団設立50周年を迎えたことを皮切りに、2017年から2年に1度、世界から学友が集まる「集い」を学友会主催で開催しています。

今回は2023年8月5～6日、関東の10地区学友会が主催する「再会 in 関東」が、茨城県つくば市で開かれる予定です。2017年の第一回「感謝in熊本」には、渡辺さん、讃岐さん私と私がカウンセラーをしていた奨学生 韓国のゴンロク君が参加しました。2019年の第二回「絆inモンゴル」には、石平委員長が参加し、2021年の「出会いin台湾」はコロナのため中止になってしまいました。次回開催の詳細は、米山奨学会ホームページなどで随時ご案内します。ぜひご参加ください。



・それから、奨学生に関わる危機管理に関しましても自然災害時、迅速に確認を取ることの出来る対応ハラスメントへの対応。さらに、2020年度から現役奨学生が例会出席の道中に起きた事故や病気に対する保険に加入しています。何かあれば申請してください。

最後に、今年度も引き続きコロナ禍に翻弄されながらの活動になろうかとは思いますが、これからも国際交流の懸け橋となる優れた人材を育てるという使命に尽力してまいりますので、引き続きロータリー米山記念奨学事業へのさらなるご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございます。

・米山功労者感謝状贈呈
竹川会長から合田倫佳会員へ、米山功労者 第3回マルチブルの感謝状が贈呈されました。



■会務報告

①帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内
日時 2月6日(月) 午後0時 会食 午後0時30分～1時30分 例会
場所 北海道ホテル
講師 中原 大雄 様 俳優
主な作品:映画「踊る大捜査線ムービー」「るろうに剣心」
TV「なつぞら」「ちむどん」他
演 題 チェーホフの戯曲「一人芝居 煙草の害について」
※尚、帯広東RC、2月7日(火)の繰上げ例会と致します。
帯 広RC、2月8日(水)の繰上げ例会と致します。
帯広西RC、2月9日(木)の繰上げ例会と致します。
帯広北RC、2月10日(金)の繰上げ例会と致します。
②帯広南RC、2月13日(月)の例会は、休会と致します。
③帯広RC、夜間例会開催のご案内
日時 2月22日(水) 午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広 ※アルコールはできませんのでご了承ください。

■委員会報告

・ニコニコ献金 (親睦活動委員会)
＜米山記念奨学会運営委員会 委員長 富良野RC 石平 清美 様＞
本日ありがとうございます。米山奨学会のご支援、よろしくお願い致します。
＜RI第2500地区 米山記念奨学会運営委員会 委員 旭川RC 小滝 達也 様＞
本日の卓話、よろしくお願いします。
＜北海道2500ロータリーEクラブ 渡邊 正俊 様＞
本日よろしくお願ひ致します。リアル例会、楽しみにしております。
＜山本 温仁 会員＞
本日の例会プログラムを担当させて頂きます。よろしくお願いいたします。
＜高橋 章文 会員＞
先日の新年交心会にて、竹川会長賞を頂きました！素晴らしい1年のスタートを切ることができました。ありがとうございます。
・前期終了御礼 小林 光樹 会員
・誕生記念日祝(1月) 阿部 勝利 会員
・結婚記念日祝(12月) 長谷川 賢 会員

■出席報告

(出席委員会)
会員総数:89名(内 免除会員3名) 出席者数:50名(内 免除会員0名 内Zoom参加者4名) 本日の出席率:58.1%

■次回のプログラム予定

2月1日(水) 「ガバナー補佐公式訪問」
RI第2005地区第6分区分ガバナー補佐 松原 光一 様
「帯広RCのコミュニケーション活性化へのチャレンジ」 (広報委員会)



例会日 / 水曜日 12:30 ～ 13:30
●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日
●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
●発行 / クラブ広報
●委員長 / 千葉 直樹・副委員長 / 五十嵐聖二・玉木 健
委員 / 内木 敬典・荒井 純一・成田 浩之・金山 紀久
●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234
●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日
●発行 / クラブ広報
●委員長 / 千葉 直樹・副委員長 / 五十嵐聖二・玉木 健
委員 / 内木 敬典・荒井 純一・成田 浩之・金山 紀久
●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>